

佐賀県白石町



平成29年4月15日発行

- P2 平成29年度当初予算ピックアップ
- P3 賛否一覧
- P4～15 一般質問で町政を問う
- P16 新しい議会構成
- P17 最近の議員活動、交通安全の町宣言
- P18 要望書、編集後記

平成29年 **3** 月議会
第**49**号

議会だより



■ 表紙は福富小学校2年 もうたいこうや くんの作品です「きょうりゅうじま」

賛否一覽



議事を進行する
片渕栄二郎議長

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

	議案番号	議案	結果	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片渕彰	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫
第1回臨時会 (2月10日)	1	教育委員会委員の任命(松尾博之 氏)	同意															
	2	教育委員会委員の任命(下田幸子 氏)	同意															
	3	監査委員の選任(吉村秋馬 氏)	同意															
	4	監査委員の選任(溝上良夫 氏)	同意															
	5	固定資産評価審査委員会委員の選任(溝上光一 氏)	同意															
	6	固定資産評価審査委員会委員の選任(香月茂 氏)	同意															
	7	固定資産評価審査委員会委員の選任(大田尾一美 氏)	同意															
3月定例会	8	犯罪被害者等支援条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	人権擁護委員候補者の推薦(白石誠 氏)	意義ない 回答中															
	13	平成28年度一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
	14	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	平成28年度農業集落排水特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	平成28年度特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	平成28年度水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	平成29年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
	20	平成29年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	平成29年度農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	平成29年度特定環境保全公共下水道特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	平成29年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議1	議会議員政治倫理特別委員会の設置と委員の選任	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議2	「交通安全の町宣言」に関する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
	選挙8	町選挙管理委員及び同補充員の選挙	指名 推薦	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

議会ポスト ご意見紹介

- まちひとしごと総合戦略について、町民全体に知れ届けられてないと思う。地域ではこの話を聞いたことがない人が多いのでは。女性の団体が危機感を持っています。
- 町の消防の組織が大きいということは、町民が地域を思う根強さがあると思う。地域づくりのために、地区の代表や区長に女性を登用すれば、たくさん声があがると思う。ここに住んでよかったと思えるように話合いの場を作ってください。
- 企業誘致も難しい話である。とにかく人口増加について大いに議論をしてください。

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。議案第13号、議案第19号、発議2号の採決は、片渕栄二郎議長が欠席のため大串武次副議長が議長を代理しています。

平成29年3月議会定例会には、
3月7日⇒9人 3月8日⇒12人
3月9日⇒9人 3月15日⇒1人
の傍聴者にお越しいただきました。
皆さんの傍聴をお待ちしています！

新年度一般会計予算 **138億9,000万円** (前年比11%増)

3月定例議会 17議案を可決(条例4件、人事1件、予算12件)
議員発議により「交通安全の町宣言」を決議

3月定例議会は、6日から17日までの12日間で開催された。町長から任期2期目の所信表明と平成29年度の町政運営施政方針が説明され、17の議案について審議が行われ全議案が可決された。一般質問は12人が行い、町の活性化などについて執行部と議論を交わした。
また、議員発議により「交通安全の町宣言」が決議された。

◆がばいよかところ発信事業(151万2千円)

福岡都市圏をターゲットにして、白石町の魅力を発信し交流人口を拡大します。



◆空き家バンク事業(180万3千円)

空き家バンクを創設し、不動産事業者から提供された物件を発信し、白石町への移住を促進します。

◆しろいし農業塾(1,278万千円)

第2期目の農業研修生として移住者を受け入れ、農業の担い手としての自立を目指す。

◆通学路整備事業(1億746万円)

主要な通学道路3路線の歩道設置を行います。

◆道の駅施設整備事業(3億7,082万8千円)

「道の駅しろいし」の平成31年春のオープンを目指し、用地取得や造成工事を行います。

◆子どもの学習環境改善事業(1億8,550万円)

全小中学校の普通教室、特別教室の88教室にエアコンを設置します。



内野さよ子 議員

問 地域づくり協議会の推進はいつなっているのか

答 モデル地区など選定し早めに推進したい

議員 昨年の3月議会において、町長は「地域づくり協議会」の設立を白石町まち・ひと・しごと総合戦略の中の優先事業として取り組んでいくと答弁された。その目標とメリットは何であるのか。

を見つめ、それぞれの地域が解決策を見いだしていくような地域づくり協議会を立ち上げたい。

議員 最終的目標は、その地域の人が住んでよかった、幸せであると思えるような地域づくりだと考えている。地域づくりに向けての全国的、あるいは県内の状況はどうなっているのか。

町長 「コミュニティ・スクールの導入、地域包括支援、防災組織づくりなど地域の課題

は県内の状況はどうなっているのか。

企画財政課長 総合戦略では5年間で8箇所

の目標を掲げている。合併から12年、地域の一体感を生み出したが地域ごとにどんな課題に比重を置き拠点をつくつるか、支援体制はどうするのか。キーパーソンをどう見いだすかなど問題がある。全国で1590市町村のうち、494市町村(31%)、県内で佐賀市など7市町が取り組んでいる。本町にあった組織づくりを目指したい。

議員 本町の地域づくり協議会の設立に向けて、どのように

推進していくのか。町民の方々は事業については何も知らない。ある程度の道筋が必要では。

総務課長 防災訓練、出前講座、小学校の講座など、一人ひとりの意識を高めてもらうことや役割について推進を行っている。土砂災害時における避難について深浦地区や川津地区など7地区において出前講座も行った。町民自身が地域を守るため、効果がある小回りのきく組織づくりを目指していきたい。

総務課長 佐賀県消防の人口千人あたりの組織率は全国トップである。本町は県内市町の中で人口当たりの団員数は県内上位である。今後のあり方についても状況を勘案しながら判断していく。

副町長 企画部門の業務量が多い。組織体制の見直しを考えた

議員 本町の自主防災組織の組織化がなかなか進まないが、県内の状況は

議員 町民の防災

問 自主防災組織の設立はいつなっているのか

答 小回りのきく単位の組織づくりを目指す

議員 本町の自主防災組織の組織化が

総務課長 平成28年

度は県内で1522の団体がある。町内には13団体で組織率17.4%である。

議員 町民の防災

総務課長 新年度の消防団員は1169人の見込みである。減少した部については組織を合併したこともある。ただし、詰所はそのままである。



●住民の生命財産を守る消防団

問 有害鳥獣による農業、生活環境被害の軽減策は

答 鳥獣被害対策実施隊の充実を目指し対応

議員 有害鳥獣対策におけるこの3年間の実績は

農業振興課長 被害

防止計画に基づき、鳥獣捕獲員による捕獲を推進し、イノシシ対策として電気牧柵の設置、ワイヤーメッシュ柵の広域設置。カモ、カラスについては強化月間を設け一斉駆除につとめてきた。

けるイノシシ被害が多く、平成27年は269頭、平成28年は228頭が捕獲されているが、個体数は増加している。このままでは農業被害や生活被害、特に人的被害が起きている状況である。今後どう対応していくのか。

問 地域包括ケアシステムの構築に向けての取組みの現状は

答 地域ケア会議の開催により地域の課題を把握し施策に活かしている

議員 団塊の世代が75歳以上となる2025年、高齢者の尊厳の保持と自主生活の支援「住まい、医療、介護、予防、生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築に向けて町はどう取り組んでいるのか。

議員 団塊の世代が75歳以上となる2025年、高齢者の尊厳の保持と自主生活の支援「住まい、医療、介護、予防、生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステム構築に向けて町はどう取り組んでいるのか。

長寿社会課係長 P

議員 地域包括ケアの資格は在宅での医療・介護が多くの方々の協力によりできるかと思うが。

長寿社会課係長 医師会、介護関係者等をネットワーク化し、平成30年より対応できるように体制づくりをしていく。



溝口 誠 議員

長寿社会課係長 平成29年1月末現在65歳以上の高齢者は、7

674人で高齢比率32%、75歳以上は、4441人で高齢者の57.9%を占めおり、85歳以上の50%の人が介護が必要な状態である。そのような中、介護実態調査を行い、どこに必要なのか課題と実態把握を行っている。平成30年に医療介護支援ネットワーク化を目指し、認知症支援対策も実行し



●地域包括支援センターの窓口



井崎好信 議員

問 2期目のかじとりをどのように考えているのか

答 笑顔で元気に暮らせる豊かな町づくりをめざす

議員 町長は町づくりを着実に実行するために、抱負や政策を町民に対して公表する機会を設けるべきではなかったか。

町長 無投票であったため選挙公報は発行されず、政策等の公表の機会がなかったと思う。町長と語る会のような対話する機会をつくりたい。

議員 花が咲き実を結んでいくために2期目のかじ取りをどのように考えているのか。

議員 人口減少に

歯止めをかけるべく、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実行に向けて積極的な施策を打ち出していくべきである。また若者が働く場づくりとして2期目で企業誘致をするとの約束できないものか。

町長 当初予算では、4つの新規事業など積極的に取り組みたい。企業誘致は県と連携しながら農業関連に特化して進めていきたい。

議員 平成28年9月補正予算において玉葱べと病対策に取

り組まれたが、その実績と効果は。

農業振興課長 利子補給対象借入は200件3億円、葉剤補助2068万8千円の予定。越年確病株は現在44tを処分している。

問 地下水の上昇が排水不良の原因ではないのか

答 計測では地下水の上昇とは考えにくい

議員 地下水の上昇が排水不良の原因ではないかと多くの方々から声を聞いているが、不安を払拭するため

農村整備課長 有識者

等調査検討会を設置している。調査では地下20mまで調査している中で深井戸の水位は上昇しているが計測では地下水位が上昇しているとは考えにくい。

議員 今後の暗渠排水事業はどのように考えておられるのか。

町長 国は定額補助であったものが定率補助に変わり県を介しての補助となる。500haが残っており1年でも早く完了



●深井戸の地下水位の調査

問 投票時間の繰り上げを検討すべきではないか

答 繰り上げる特別な事情がない

議員 午後8時までの投票では開票終了が遅くなり作業される方の肉体的な面、また経費の負担を考えるとときに投票時間の繰り上げを検討すべきと思うが。

総務課長 特別な事情がある場合は特例が認められるが、質問のようなことは特別な事情とは考えられない。県内では4市3町で繰り上げされている。

問 有害鳥獣による被害は

答 農水産業だけでなく生活被害も出ている

議員 町内の農業や水産業への有害鳥獣(カモ・カラス)による被害状況はどうなっているのか。また、その対策や支援は。

農村整備課長 のり

農業振興課長 蓮根や麦の食害などの報告を受けている。これらに対しては猟友会等の協力を得て一斉駆除などを行っているが、あくまで追い払い程度であるために

白石町水産振興協議会で猟友会への追い払いの依頼や、組合員による巡回も行われているがいずれにしても根本的解決には至っていない。

議員 ごみステーションでのカラス被害がひどいようだが把握されているのか。

生活環境課長 町内273カ所のごみステーションがあるが、今のところ3箇所の地区から被害の報告があつて

うだがルールの周知ができていないのではないのか。

生活環境課長 ごみステーションのケー

ジの数はその地区の世帯数をもとに設置されている。他地区からの搬入があれば溢れてしまう。しかし法的な罰則もないことから住民モラルに任せざるを得ない所がある。今後も周知の徹底や環境改善に努めていきたい。

議員 被害に



川崎一平 議員

しては物理的に防ぐことができるので、改善のための情報収集に努めて頂きたい。また、地区外からの搬入による投入量の増加が原因でケージから溢れてしまっている現状もあるよ



●入換えが進む大型ごみ収集ケージ

問 庁舎1階ロビーをWi-Fiスポットにできないか

答 セキュリティも踏まえて今後考えていきたい

議員 1階ロビーに静かな音楽やコーヒの香りがほのかに漂い、来庁された方が憩えるような場所づくりができないか。

町長 庁舎建設の際、

いろいろなコンセプトがあつて建設がなされた。1階ロビーはいろいろな業務を行ったり選挙の際も使用されている。また住民の相談を聞く場としても利用されているため音楽の提供は差し控えたい。

また、これからはワンストップサービス等に配慮し、交流をはぐくむ開かれた庁舎を目指してより良き役場にしていきたい。

議員 庁舎1階ロビーにWi-Fiスポットを設置できないか。

総務課長 庁舎内においては、職員用Wi-Fiの整備をしているが、

議員 今後整備を

していく上で、しっかりと業務用と一般用を切り分けて設置をして頂きたい。

総務課長 庁舎にお

いては住民の方々が気軽に立ち寄りやすい庁舎にしたい。また、今後観光のための情報発信の場としても情報提供のサービスをしていきたい。



友田香将雄 議員

問 白石町のファンを増やすような、ふるさと納税制度の活用を

答 ふるさと納税制度の趣旨に沿った形で、積極的に取り組んでいく

議員 ふるさと納税制度について、都市部との不公平感や過度な返礼品競争などにより制度のあり方が議論されている。白石町として今後どのように運用するのか。

議長 発信を行い積極的に取り組んでいく。

産業創生課長 特産物の消費拡大や白石町のPRなど、制度の趣旨に沿った運用をしている。今後も情報

産業創生課長 いか

農産物のリピーターとなって頂けるかが今後の課題。当制度の趣旨を踏まえた運用を行っていく。

納税の寄付金を活用できないか。企画財政課長 保育料の額は国が示す額より3割カットし、多子世帯については軽減措置も行っている。

問 町の観光を推進するためには、最低限の施設整備が必要ではないか

答 財源的な制約はあるが、最低限の整備については早急に進めたい

議員 観光地化についての意気込みは。

町長 白石町の交流人口を増やし定住

促進に繋がることから観光地化は絶対に必要な事である。

議員 観光のためのPRを計画されているが、観光地の施設整備が不十分。まずは観光地の施設整備から進めるべきでは。

産業創生課長 観光地の整備がまず必要との声もあがっている。財源的な制約はあるが、最低限な整備については進めていきたい。



●観光施設の肥前大山城展望所

問 町民の社会参加や活動を推進するため、積極的な支援拠点が出来ないか

答 既存の施設を有効的に使って頂きたい

議員 佐賀市にある佐賀市市民活動プラザではNPOなどの団体へ情報提供や機器の貸し出しなど、精神的な支援を行っている。白石町でも町民の社会活動への取り組みが進むよう積極的な支援の拠点が

必要ではないか。企画財政課長 公民館、総合センター、ゆうあい館などで希望があれば施設の開放を行っている。また、ゆうあい館ではパソコンの使用もできるので、既存の施設を有効的に使って頂きたい。

問 ヘルプマークの積極的な導入を

答 県内での導入はまだないので、本町としても勉強をしていきたい

議員 内部障害や妊娠初期など、外見では分からなくても支援や配慮を必要としている方が援助を受けやすくするために、東京都で作られたヘルプマーク制度。被災時や日常生活にも活用できるこの制度を白石町でも導入が出来ないか。

※ヘルプマークとは、内部障害や難病など、外見からはわかりづらい人が援助や配慮を必要としている人が幅広く活用できるマーク

問 地下水上昇に伴う水田の排水対策を

答 排水対策と堆肥など有機物の施用による土づくりを推進していく

議員 地下水上昇の原因究明はできたのか。

農村整備課長 地下水上昇というよりも、

地表水の排水機能が低下していないか、有材暗渠が十分に機能しているか調査が必要である。

議員 近年、地下水位が上昇したのは、何が原因なのか。

農村整備課長 平成13年度に水道水の水源転換、農業用水を平

成24年度から深井戸からの取水から地表水に水源転換が図られてから深井戸の水位が上昇した。

議員 玉葱・麦など地下水位の限界値はどのくらいなのか。

農業振興課長 普通畑作物では50〜60cm、永年性作物では60〜100cm程度必要で、玉葱・麦ともに地下水位は、地表より40cm下が望ましい。

議員 玉葱・麦など



大串武次 議員

農村整備課長 圃場排水不良の原因として考えられることは、①雨が多く天候不良であった。②大型機械の使用により、地盤が固められた。③暗渠排水、弾丸排水が機能していない。

議員 地盤沈下



●白石町農業振興大会

畑作物に湿害の影響は出ていないのか。

農業振興課長 地下水脈は地下150〜200mに分布していると思われ、ポンプ場や深井戸の水位が上がったために重粘土層を地下水が浸透してきているとは非常に考えにくい。作土層の厚さが重要であり、水田が乾かないというのは天候不順も大きな要因と思うが、他に対策として暗渠や額縁明渠等の施工も重要と考える。

議員 地下水上昇と水田が乾きにくくなった関連性はないのか。

農村整備課長 圃場排水不良の原因として考えられることは、

問 道の駅整備計画と沿岸道路との供用時期は大丈夫なのか

答 県の動向を注視しながら必要に応じ、対応検討していく

議員 有明海沿岸道路の芦刈ICから福富IC間の進捗状況は。

建設課長 河川部の3橋脚のうち2橋脚は完了しており、1橋脚は下部工の工事施工と、河川部の上部工は工場製作中である。軟弱地盤対策工法の見直し案の効果を検証するため試験盛土を実施することとなっている。

議員 福富鹿島道路の区間の進捗状況は。

建設課長 福富鹿島道路の区間は、福富地区から有明粘土層が厚く、軟弱地盤対策工法の検討や、橋梁の予備設計計画、道路設計の見直し等が行われている。

議員 有明海沿岸道路と道の駅の整備計画の関連性はどうか。

なるのか。
産業創生課長 平成31年春オープン予定の申請にて登録されており、一体型で整備を行う佐賀県と事業の進め方などについて協議を進めている。有明海沿岸道路については早期完成を要望している。
議員 もし、道の駅の整備計画が進み有明海沿岸道路との供用時期が合わなかった場合、その間、道の駅は空回りの心配はないのか。
町長 沿岸道路と供用時期が合わないことも想定し、運営に関しては十分に協議していく必要がある。今後、県の動向を注視しながら必要に応じ、対応していく。



西山清則 議員

問 農産物のブランド確立に向けて、どのような施策を講じていくのか

答 白石ブランドの浸透を図っていき

議員 町民の多くが地下水の上昇が土壌を悪化させているのではないのかと思

議員 レンコン・玉ねぎは本町以外で県内多くの所で生産されている。そういうことで産地間競争が激化する中で、白石町の農産物のブランド確立に向けて、どのような施策を講じていくのか。

農村整備課長 中長期的な調査を行い。多くのデータを集める事が大事である。

りちゃんを使い、首都圏においてのPR活動を行い、白石ブランドの浸透を図って行きたい。

議員 町には福富レンコン出荷組合があります。平成9年に立ち上げられ20年を迎えられている。組合員の組織としては農協と対等と思うが、農協オンリーではなく福富レンコン出荷組合も利用する必要はないか。

議員 本町の玉ねぎ、レンコンを始め施設園芸物の取扱い量はJAが多いと思

町長 組合の歴史は相当あると思

農業振興課長 今のところ白石の名前が佐賀に代わるのは聞いていない。代わるよ

議員 組合の歴史は相当あると思

議員 結婚推進対策として行政も真剣に考え、婚活サポ

議員 組合の歴史は相当あると思

問 結婚サポートセンターの設立に向け、広域的に取り組む考えは

答 本町は婚活サポーターに努力して

議員 結婚推進対策として行政も真剣に考え、婚活サポ

議員 組合の歴史は相当あると思



企画財政課長 町のサポーターも、県のサポーターも、紹介する場合もある。



●親身になって活動される婚活サポーターの皆さん

議員 広域的に取り組む、町内に結婚サポートセンターの設立は考えてないか。町として真剣に婚活を考えてほしいが。

町長 本町は婚活サポーターに努力していただいている。今後もサポーターをお願いして、成婚率を上げていただきたいと思

問 人口減少 流出防止への対策は

答 国土利用計画の作成の中で町民の意見を取り入れ盛り込んでいく

議員 人口減少の一つとして若い世代の流出があるが、防止策として地場産業の支援、企業誘致等への取組みは。

企画財政課長 現在作成している国土利用計画に対しての意見の中で、企業誘致という意見より白石町に住み通勤するという声が多かった。企業誘致に関しては、大規模というよりは白石町の産業に特化した



問 生産人口の減少による社会保障費等の今後のシステムづくりは

答 国保財政運営の改革と介護保険事業計画により安定させていく

議員 生産年齢人口減少により、医療や介護、年金等の社会保障費等の今後のシステムづくりは。

長寿社会課長 介護保険を安定的な運営とするため、杵藤地区介護保険事務所が介護保険事業計画を策定し、運営している。地域包括ケアシステムを地域の特性に応じ

住民課長 国民健康保険ですが、平成30年度以降は県が国保の財政運営について責任の主体を担うこととなる。急激な医療費の増加等に対応できる安定的な財政運営

議員 級を契機にという方向もあるが、平成34年度までは、複式学級が発生する事態にまでは落ち込まない見込みとなっている。義務教育段階での大きな目標の基礎的資質を

問 小中学校の統廃合の考え方と検討する基準及び時期は

答 学校運営協議会で意見・議論を重ね進めていきたい



重富邦夫 議員

議員 各地でも少子化に伴う統廃合の協議がなされる中において、本町は何を基準として統廃合を検討する時期とするのか。

教育長 学校の統廃合については、複式学級を契機にという方向もあるが、平成34年度までは、複式学級が発生する事態にまでは落ち込まない見込みとなっている。義務教育段階での大きな目標の基礎的資質を



●役場を訪問してくれた有明南小の子どもたち

主任指導主事

小規模校では、きめ細かい指導の実施、発言活躍の場が増える。運動場、体育館等施設が柔軟に使用できる。職員間の時間調整がスムーズである。大規模校では、クラス替えが可能。いろんな人との関わり合いで活性化。多様な意見が出る可能性が高まる。良い意味での競い合いが生まれ向上心ができる。意思疎通について失敗。成功をして学ぶ機会が増えることなどが



草場祥則 議員

問 白石町国土利用計画の策定経緯と意見聴取の方法について

答 昨年6月に白石町国土利用計画審議会を立ち上げた

議員 白石町国土利用計画の策定経緯と意見聴取の方法について

地などの調整をどう図っていくかなどの懸案もある。まちづくりの根本として、土地利用の基本的な方針を定めるべきと判断し、国土利用計画の策定を決定した次第である。昨年6月に駐在員代表と、農業委員・農協・漁協・商工会の各女性部の方子育で世代の代表として3中学校の母親

企画財政課長 有明

海沿岸道路福富ICの開通は、今後の本町の土地利用に大きな影響を及ぼすものと考えられ、住宅の建設促進、企業の進出が期待される。本町の土地利用で最も重要な農地を守るために、住宅

委員長など女性7人を含む16人からなる白石町国土利用計画審議会を立ち上げ、計画策定の諮問を行った。まもなく答申される予定である。

問 農地（土地）利用の効率化を

答 農振法で必ず75日間の公告縦覧等の期間が必要



しの未来を描こう会」を開催した。中学生から80歳まで、幅広い年齢層の450人もの町民の方から意見をいただいた。

議員 農地の利活用の効率化と転用の迅速化を。

農業振興課長 *

農振除外については5つの要件があり、また法律について75日間の公告縦覧等の期間が決まっている。そのことから自分の土地であっても簡単に転用はできない。1日でも早く転用ができるよ

う努めているが、法律で期間が決まっているので、許可まで時間がかかる。なお、農業振興地域は筑後川土地改良事業等がスムーズに行われるということもある。

※農振除外とは、農地転用したい農地が農業振興地域の「農用地区域」に該当していた場合に農業振興地域からの除外を行う手続き

問 コミュニティ・スクールに向けた取り組みと方向性は

答 今までの実践を更に積み重ね、有意義なものになるように徐々に醸成していく

議員 指定から一年経過した時点での

コミュニティ・スクールの活動状況と目指す方向性をどのように考えているのか。

主任指導主事 これ

まで各学校で取り組んできたことを継続しながら、更にコミュニティ・スクールを意識して、地域の方々と

議会が学校とパートナーとなり学校運営を推進していくこととなるが、この施策の鍵となる学校運営協議会の在り方についてどのように考えているのか。

主任指導主事 地域

や家庭と学校との連携を図る調整役を担っている。当面の間は学校のマネジメントを支える形として、無理のない活動を設定しているが、学校の活動内容が充実するに従い学校運営協議会も有効に機能してくる。

議員 来年度に予定されているコミュニ

ティ・スクール・ディレクターについて役割は。

学校教育課長 学校

運営協議会に係る業務を担う。配置は現在のところ決定してい

ない。
議員 地域の課題

は地域で解決する豊かなコミュニティを目指す「地域づくり協議会」が設置されれば、学校運営協議会を包括する仕組みとなり有効に機能できるのではない。

町長 学校運営協

議会はすでにできており地域づくり協議会は後追いであるが、地域の問題は地域の人で解決していくことは、地域の個性を生かせるものである。これから仕組み作りを行っていききたい。



問 空き店舗の利活用についての支援策は

答 白石町地域商業活性化支援事業を考えている

議員 空き店舗の利活用についての支援策と白石商店街を賑わいの拠点としてどのように活性化を図るのか。

産業創生課長 商店

街の賑わいを創出することは、町の活性化において不可欠であると考えている。人が来るような仕掛けについて

も考えている。人があるという点で重要であると考えている。町としても商工会との連携を図りながら、情報の提供に努めるとともに、積極的に空き店舗の利活用について提案を行いつながら、どのような支援ができるのか検討



●白石商店街交流施設の元気のたまご

問 小中一貫校の今後の在り方は

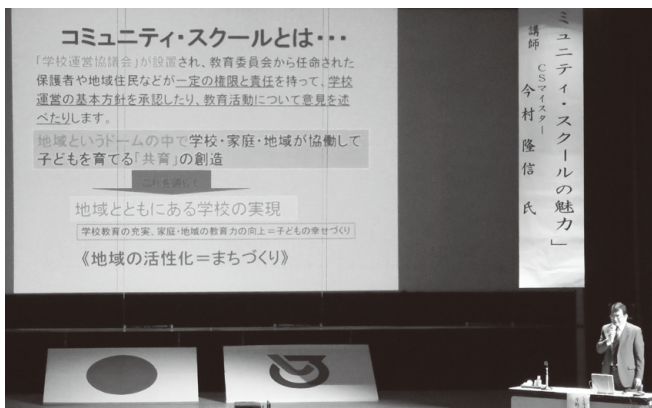
答 各学校で条件が異なることから福富小中学校のみで小中一貫教育を実施する

議員 福富小中

学校の小中一貫校の目的やどのような教育効果を目指しているのか。また、義務教育学校についての考えは。育は、少子化によって育みにくくなった社会性の育成や中1ギャップに対応し9年間を見通した教育等、より良い形での学校経営の方法である。福富小学校・中学校は以前から小学校1校・中学校1校を生かして連携してきた実績がある。現在、職員の努力

教育長 小中一貫教

育は、少子化によって育みにくくなった社会性の育成や中1ギャップに対応し9年間を見通した教育等、より良い形での学校経営の方法である。福富小学校・中学校は以前から小学校1校・中学校1校を生かして連携してきた実績がある。現在、職員の努力



●白石町教育の集い



吉岡英允議員

問 最も重要と考える施策は

答 笑顔で元気に暮らせる豊かなまちをつくること

議員 町長2期目となる町政運営において、最も重要と考えられている施策について問う。

議員 施策の中で全町的なあいさつ運動の提唱とあるが、すでに合併して12年も経ってから提唱する考えを問う。

町長 笑顔で元気に暮らせる豊かなまちをつくるために、「白石の活性化を図る」、「白石の安全を守る」この大きな2本柱を据え、「ひとつづくり」、「農林水産業・商工業の振興」、「災害に強いまち」、「交通安全など安全なまち」の4つの項目を掲げ

町長 あいさつ運動は他町の方から見られた場合できていくと評価していただくが、もっとも体の中にしみ込むように運動できたらよいと考えている。

議員 平成30年から米の生産調整が廃止となり、米の直接支払交付金もなくなることで、今後益々農業経営が厳しくなることが予想される。農業で収入を得ていくためには、米麦中心から露地野菜を中心とした経営形態に移行していく必要がある。これから露地野菜へ転換していくための振興策を問う。

農業振興課長 質問のとおり米麦ばかりでなく露地野菜を中心とした経営形態も考えていく必要がある。今後はあると認識する。関係各機関と協議し推進していく。

議員 本町の経営規模が小さい農家においても、露地野菜の作付けができるように、他市町でも実施されている農業機械レンタル事業が本町でもできないか。

産業創生課長 農業機械レンタル事業ができたならば農家の所得向上につながると思われるので今後J A佐賀と協議を行う。

議員 75歳以上の運転免許自主返納者への支援策について。75歳以上の9人中うち75歳以上の保有者の方は1860人であり全体の11%である。町内で発生した人身交通事故の件数は、平成28年度は全体で192件発生しており、そのうち75歳以上が第一当事者であった件数は15件であり全体の8%である。

交通事故防止の対策としては、出前講座の中で交通安全メニューを作り、老人クラブ定例会に出向き白石警察署員の講話を含めた約1時間の交通安全教室を年間15回開催している。また、高齢者が関係する事故が減るように意識啓発に努めていく。

議員 嬉野市においては自主返納後に運転経歴証明書の交付を受けた方には、様々な特典（還付）があるようだが本町もできないものか。

総務課長 役場内の企画財政課・福祉部門と協議して検討していく。

●運転経歴証明書の提示でタクシー運賃が1割引

問 75歳以上の運転免許返納者への取組みは

答 役場内で協議し検討する

議員 町内における高齢ドライバーによる交通事故の現状とその対策について

総務課長 現状としては町内の運転免許保有者数1万690

問 小中学校のトイレの洋式化は

答 洋式の設定率は29%

議員 多目的トイレは必要に応じて設置の検討はしているのか。

学校教育課長 各小中学校に整備する計画はないが、肢体不自由等により排便に支援が必要な児童生徒が入学又は在学した場合、スロープや手すりの設置、車いすでも入れるスペースの確保など、必要に応じて改修し、児童生徒が使用しやすい環境整備

議員 備に努めていきたい。トイレの状況について、子供たちや保護者に意見など聞いたことがあるのか。

学校教育課長 学校では、朝の健康観察や生活検査等で腹痛の子がいなか、大便をしてきているのかを尋ねることはあるが、改めてアンケートは実施してない。

議員 子供たちが勉強に集中できる場所を、よりよい環境を

提供するのが大人の役目ではないか。

教育長 児童生徒の安全確保や学習に直結した改善を優先して対応しなければならぬのが実情である。このことから多目的トイレの整備やその他の環境整備については、必要に応じて対応していきたい。

問 公共施設のトイレは、高齢者や障がい者の方々も安心して利用できているか

答 全てのトイレに多目的トイレを設置出来てない

議員 歌垣公園のトイレの整備は。

産業創生課長 高齢者等の利用頻度が高い芝公園横と中央駐車場の2箇所のトイレについて、男女それぞれ1基の計4基の大便器を洋式に整備を行い、併せて、手すりも整備を行ったが、専用トイレとはなっていない状況である。中央駐車場の洋式化した大便器男女それぞれ1基の計2基については、以前から車いすが入れるぐらい



前田弘次郎議員

のスペースは確保できている。今後も、多くの方々にお越しいただくには、可能な限り利用しやすいトイレとなるよう整備計画の検討を考える。



●多目的トイレが整備された肥前白石駅

問 婚活サポート事業の新たな取組は

答 さが出会いサポートセンターとタイアップ

議員 婚活サポート事業により結婚推進対策が進められて、少しずつ成果もみられており今後も期待するが、更なる成果を求めて新たな取組は。

企画財政課長 婚活サポート事業は、サポートによる引き合わせにより、縁をつなぐお手伝いを主に進めてきたが、より多くの出会いの場や交流の機会をつくるように、佐賀県の婚活事業であるさが出会いサポートセンター事業とタイアップして進めている。

問 「選挙へ行こう」への取組は

答 選挙直前の成人式で司会者から「選挙に行きましょう」と呼びかけた

議員 選挙年齢の引き下げなどを踏まえた、町民に対する投票の啓発活動の取組は。

総務課長 昨年施行された選挙権年齢の満18歳、19歳の有権者を意識した啓発を行った。町民の方々へは町広報紙や白石町ホームページ、フェイスブックでの投票の呼びかけ、庁舎前に選挙告知看板の設置、各公共施設での投票啓発チラシ、ポスター掲示を行った。

県内の主な高校へ投票啓発のチラシ、ポスター掲示を依頼し、また個人向けに年賀状を送付し、白石、佐賀農業、杵島商業の3高校へは直接出向いて啓発を行った。

「交通安全の町宣言」に関する決議

本町は、一次産業が主産業の農村地帯であり、町民の移動手段は主に自動車であることや、2本の国道が横断していることなどから、交通量も多く、町民が交通事故に巻き込まれる可能性は高い状態にある。

幸い、これまで行ってきた交通安全施策の効果もあり、新白石町が誕生した平成17年以降、町内で発生する人身交通事故の件数は、減少傾向にある。

しかし、携帯電話の普及などによる「生活環境の変化に起因する事故」や高齢化社会の進展による「65歳以上の高齢者が関係する事故」の割合は増加し、新たな事故発生の要因となっている。これに加え、町外において、町民が関係する事故も多く発生するなど、交通マナーが低下している状況にある。

交通事故は、一瞬の不注意により悲惨な境遇に巻き込まれる恐れがあり、町民一人ひとりがこれらについて十分認識し、家庭、職場、地域等において自ら事故防止に努力を払うことが求められている。

よって、本町議会は、町当局をはじめ警察署、交通安全指導員会、交通安全協会、交通安全母の会、老人クラブ連合会、学校等の関係機関との連携を強化し、町民総ぐるみで交通事故のない安全・安心な町づくりを推進することを決意し、「交通安全の町」を宣言する。

平成29年3月17日
白 石 町 議 会

最近の主な議員活動 1月～3月



月	日	曜	活 動 内 容
1	4	水	白石町成人式
	5	木	議会だより編集委員会
	7	土	消防出初式
	10	火	白石町立志式 商工会新年役員会・懇親会
	16	月	白石町功労者表彰式
	20	金	町村議会議長会議、局長合同会議
	24	火	同和問題地区別研修講座
2	3	金	議長、副議長退任式
	5	日	人権フェスティバル
	6	月	臨時議会
	7	火	西佐賀水道企業団議会議員全員協議会
	9	木	西佐賀水道企業団2月定例議会
	10	金	臨時議会閉会
	15	水	議会広報特別委員会視察研修
	16	木	議長会定期総会
	21	火	佐賀県後期高齢者医療広域連合議会
	23	木	西部広域環境組合議会
	24	金	杵藤地区広域市町村圏組合議会開会 国保運営委員会
	27	月	議会運営委員会 杵東地区衛生処理場組合議会 環境推進協議会
	28	火	指定管理保育園評価審査委員会 農業振興大会

月	日	曜	活 動 内 容
3	1	水	佐賀西部政経セミナー
	5	日	嘉瀬川ダム感謝祭
	6	月	3月定例会開会
	7	火	一般質問（4人）
	8	水	一般質問（4人）
	9	木	一般質問（4人）
	10	金	町立中学校卒業式
	11	土	叙勲祝賀会
	12	日	歌垣の郷ロードレース大会
	13	月	議案審議（総務）
	14	火	議案審議（文教厚生）
	15	水	議案審議（産業建設）
	17	金	町立小学校卒業式 3月定例会閉会
	18	土	ありあけ幼稚園卒園式
	21	火	国土利用計画審議会
	24	金	町立保育園卒園式（福富）
	25	土	町立保育園卒園式（須古、六角、福田、ふたば、わかば） 東京福富会
			町立保育園卒園式（みのり）
	27	月	健康づくり推進協議会 有明海沿岸道路建設促進協議会
	28	火	町立保育園卒園式（あかり） 杵藤地区広域市町村圏組合議会閉会
	31	金	しろいし農業塾第1期生修了式・第2期生開講式

議会の新体制が始動 議長に片渕栄二郎議員を選出

改選後初となる議会が2月6日に召集され、合併後4期目の新体制が始動した。
正副議長は議員間の選挙により、議長に片渕栄二郎議員 副議長に大串武次議員が就任した。
任期は、平成29年2月6日から4年間



議長 片渕栄二郎 副議長 大串武次
常任委員会構成 ◎委員長 ○副委員長

委員会の名称	常 任 委 員
総務常任委員会（6人）	◎ 内野さよ子 ○溝口 誠 片渕栄二郎 片渕 彰 定松弘介 重富邦夫
文教厚生常任委員会（5人）	◎ 草場祥則 ○吉岡英允 溝上良夫 中村秀子 友田香将雄
産業建設常任委員会（5人）	◎ 井崎好信 ○西山清則 大串武次 前田弘次郎 川崎一平

議会運営委員会、特別委員会構成

委員会の名称	委 員
議会運営委員会（6人）	◎ 片渕 彰 ○吉岡英允 重富邦夫 内野さよ子 草場祥則 井崎好信
議会広報特別委員会（6人）	◎ 前田弘次郎 ○友田香将雄 川崎一平 定松弘介 中村秀子 重富邦夫
議会議員政治倫理特別委員会（7人）	◎ 内野さよ子 ○溝口 誠 井崎好信 草場祥則 片渕 彰 定松弘介 重富邦夫

要望書を受け取りました 6件

●し尿収集運搬手数料改定に関する要望

提出者 佐賀県環境整備事業組合理事長 緒方 芳信

●福吉区内の道路整備について

提出者 福吉区長 田中 誠一

●白石川付設排水機場の排水ポンプ増設に関する要望

提出者 白石川付設排水機場の排水ポンプ増設要望実行
協議会会長 林 広秋

●廻里江川の錦江橋北側にかかる、転倒ゲートの故障修理について

提出者 高町区長 石橋 信幸

●秀津区、栄町区内排水路の浚渫に関する要望

提出者 栄町区長 石戸 清司

●町内業者への工事発注の取扱いについて

提出者 白石町商工会建設工業部会長 野中 正博

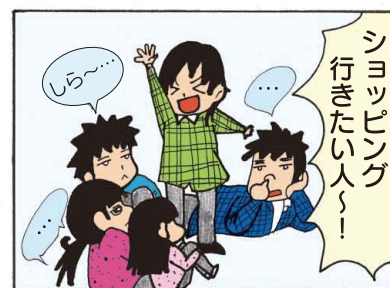


●4年間よろしくお願いします！

議会戦隊 炊飯ジャー

作:Sachiemon

第13話「決議」



※決議とは
議会が行う事実上の意思決定行為で、
議会の意思を対外的に表明する議決

編集 後記

このたび議会広報委員長になりましたMです。議員になって2期目、やる気満々です。これから委員の方々の協力を受けながら議会だよりの編集を行っていきます。今後



しーしーみのりちゃん

の議会だよりは町民の方々に興味を持っていただくために、色々な企画を考えて進めていきます。町民の方々の意見を聞きながら、読んでいただける議会だよりを編集していきますのでよろしくお願いします。(コーじろう)



白石町議会だより/第49号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1

TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長 片淵栄二郎

編集委員/委員長 前田弘次郎
副委員長 友田香将雄
委員 川崎 一平
" 定松 弘介
" 中村 秀子
" 重富 邦夫